

仙台市立 荒巻小学校



校章の由来

現在の荒巻小学校を中心とした一帯は、仙台藩の牧場でした。そこに勇躍生きる若駒のような生き生きした子供を育てたいという願いをこめてつくられました。

馬のくついで、輪郭は牧草の三つ葉のクローバーです。これは、希望・信仰・愛情の豊かな児童の成長を表します。



昭和三十三年 三月四日 制定

デザイン 梅 祐男

校長先生にインタビューをさせて頂きました。



校長 庄子裕先生

令和三年度に荒巻小学校に着任された庄子裕校長先生から抱負を一言

荒巻小学校の子ども、保護者、地域、教職員が力を合わせ「えがおあふれるたのしいがっこう」になるように頑張りたいです。

化石採集に興味をお持ちのこといつ頃からでしょうか？
きっかけなどございましたらお教え願います。

たぶん小学生の頃からです。
川遊びをしていて珪化木を拾ったり化石がびっしり積み重なっている地層をくずしたりして遊んでいたのがきっかけでしょうか。
もつと前、小学校に入る前に磁石につく石を見つけて「不思議だな」と思った経験からかもしれません。

今までの化石採集の中で一番のお気に入りは何でしょうか？
それはどうしてですか？

アンモナイトでしょうか？
とげとげで複雑な模様。
荒々しく渦を巻くアンモナイトには心が吸い込まれそうで強くひかれますね。それで荒巻小に呼ばれたのかもかもしれません。(残念ながら荒巻ではアンモナイトはとれません。)



令和二年度に開催された芸術鑑賞会について



PTA会長 岩 潤努

荒巻小学校PTAでは一年おきに、「音楽観賞会」、「劇団による演劇鑑賞会」を開催しております。しかし、コロナの影響でPTA主催行事だけでなく、学校行事の多くも中止せざるを得ませんでした。

「コロナのせいで何もできない一年だった」ではなく、「コロナがあつたけれど楽しい一年だった」と言える一年にしたかったPTA役員一同で、コロナ対策に万全を期した、新しい開催方法を模索しました。そこで、仙台市出身、仙台も拠点に活動している白Aさんへコンタクトを取りました。

白Aさんとは、空間やステージ上に演出される映像である「プロジェクトマッピング」を使用し、「パフォーマンス」と「テクノロジーサウンド」を融合させた近未来型エンターテインメント集団で、アメリカの国民的エンターテインメント「アメリカズ・ゴット・タレント」にてアジア人初のゴールデンブザー賞を獲得。これまでに世界30カ国で500公演以上を行い、10万人以上のオーディエンスを動員しています。

「日本に「ロードウェイ」を作ろう」をモットーとし、日本に世界中の人が誰でも楽しめるエンターテインメントとして「観光観劇」の文化の形成を目標として、今年は杜の海水族館や丸森町等、幅広く活躍しております。

公演は、プロジェクトマッピングとダンスを融合させたパフォーマンスを体感で行っていただきました。児童の写真を取り入れたパフォーマンスや、「夢を追いかけること」について、どうして白Aで活動しているか等について児童に熱く語っていただきました。

「コロナだからと言って、できないことを考えるのは簡単であるが、「児童・生徒の笑顔」を想像すると、夢が膨らむ活動を描ける、さらに「まずは、動いてみる。」ことの大切さをPTA役員一同感じました。

